

入選

親切がくれたゆう気と自信

千葉県 西部小学校 3年 渡部 凜音

7月7日の七夕の日、習い事の帰り道、とつぜん、お父さんが、

「おまつりに行くよ。」

と言ったので、妹と弟と大よろこびしました。道がこんでそうだったので、電車で行くことになり、ふだんあまり電車に乗らないので、ワクワクしました。電車に乗ったら、せきが空いていなかったのので、ドアの近くに立ちました。外をのぞいていたら、せいふくをきたお姉さんが近づいてきて、

「ここどうぞ。」

と、せきをゆずってくれました。

知らない人に声をかけられてドキッとしたけれど、やさしいなと思いました。

「ありがとうございます。」

と言ってすわらせてもらいました。

次のえきでおばあさんが乗ってくるのが見えました。まわりを見わたすと、空いているせきがなかったのので、ゆずってあげようかまよい、ドキドキしてきました。

まよっていると、きゅうにさっきのお姉さんが頭にうかび、ゆう気を出して行動してみようと心にきめました。

「ここどうぞ。」

と、おばあさんに声をかけると、やさしいえがおで、

「ありがとう。」

と言ってくれたので、わたしはとてもうれしくなりました。心の中でうれしい気持ちがぴよんぴよんとびはねて、顔がニヤけてしまいました。それを見ていたお父さんが、頭をなでてくれたので、うれしい気持ちが百ばいになり、またまた顔がニヤけてしまいました。

電車をおり、おまつり会場へ歩いているとき、わたしはおもいきりスキップをしたいほど心はずんでいました。お気に入りの店をさがしながら歩いていると、千円さつがおちているのにお父さんが気がつきました。

「りん」と、お父さんに声をかけられ、わたしも千円さつに気づきました。せっかくのおまつりなのに、おとした人はすごくがっかりしているだろうなと思い、早く交番にとどけてあげようと思いました。交番に入ったことが一度もないので、すごくきんちょうしたけど、電車の中で一度ゆう気を出して行動できたので、自信がわいてきて中に入ることができました。

今日一日でわたしは、おねえさんから親切にしてもらって、おばあさんやお金をおとした人に親切にすることができました。人に親切にするときには、とてもゆう気がひつようで、今までわたしはなかなか行動できなかつたけれど、自信がついたので、これからはしぜんに自分から行動できるようにしたいと思います。